

令和2年7月3日

学校法人三幸学園
大阪医療秘書福祉専門学校
校長 山本 稔 殿

学校関係者評価委員会
委員長 杉谷 肇

学校関係者評価委員会実施報告

令和1年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 杉谷 肇（宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院
総務課 部長代行）
- ② 岡田 智之（社会福祉法人邦寿会 特別養護老人ホーム高殿苑 施設長）
- ③ 森 千尋（箕面市立病院 事務局 医療事務室 2015年度卒業生）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和2年6月23日（場所 大阪医療秘書福祉専門学校 307教室）

※委員はすべて学校外の場所より **Google Meet** を使用して参加

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2019年度 学校法人 三幸学園 大阪医療秘書福祉専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 渡邊 慧

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 杉谷 肇

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療福祉分野の学校として「医療現場で医療を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療福祉分野として「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・人間性を育むための教育

生徒の人間性を育むために、「あきらめない教育」を日々実践している。生徒の社会人としての基本スタンス（あいさつ・礼儀・報連相等）については、まだまだ育成する必要があると感じている。日々の生徒指導において、現場の求める基本的なスタンスを養えるよう育成し、土台をかためた上で、主体的に現場で活躍できる人材育成を目指す。

・新カリキュラムの運用

2019年度よりほとんどの学科で新カリキュラムを導入した。検定の合格率を向上させるだけでなく現場に出た際に必要な実践力を養う科目を導入し行事とも連動させている。

まだまだ質の向上は必要になるが、一定の成果は出ているように感じている。

・検定合格率の向上

三幸学園全国姉妹校との比較でいうと、検定合格率の結果が前年度より改善がなされた。専門的な知識・スキルの獲得の為に、検定合格率を向上させていくことを目指す。各検定において、目標値を定め、検定合格においてリーダーシップを取る、教科チームは専門性の高い教員に担当させ、合格率向上を目指していく。

② 学校関係者評価委員会コメント

杉谷委員より(医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について)

新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の学校運営では、昨年度と違う対応が必要になってくる。今まで培った、知恵や知識では対応できないが、新しい学びを得られる機会となるように、前向きにより良い学校づくりを期待している。

岡田委員(介護福祉科について)

今回のコロナ禍のなかだからこそ、在校生は、特別な体験を何かをさせてあげてほしい。学校でそのような場を設けて、それに協力できることは施設としてもしていきたい。

森委員より(医療秘書科について)

病院も、患者対応において、通常とは違う対応が求められている。臨機応変さが、本当に必要である業界であると、改めて確認した。生徒にも是非伝えてほしい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】(評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・学校の理念・目的・人材育成像は定められているが、生徒・保護者に対して周知に関しては課題がある。

② 今後の改善方策

・入学前オリエンテーションで周知をしているが、入学後に定期的にホームルーム等で周知を図る。生徒も人材育成像や達成目標をしっかり理解することで、学びの習熟度も向上すると考える。

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

杉谷委員(医療秘書科・診療情報管理士科について)

今回の新型コロナウイルスの影響で、今年度は、昨年との比較が難しい。

岡田委員(介護福祉科について)

離職を防ぐために効果的である、先輩とのかかわりを重視し、より多く取り組んでほしい。

森委員(医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について)

通常の予定では、入学前に実施するスタートアッププログラムがない状態で、新入生の気持ちや、分散登校でクラスメイトとの交流が少なくなることを考えると、新入生の不安は大きい。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・スマートフォンを活用した授業ツールを導入しているが、まだ使いこなすことが出来ていない教員や生徒が多く、機能も活用しきれていない。また、初期設定や登録に時間がかかっている現状がある。

② 今後の改善方策

- ・メディア授業導入に伴い、教員や生徒も対応するなかでICTに順応すると思われるが、適宜説明や研修を行い有効活用できるよう取り組んでいく。
- ・積極的にWEB会議などを活用し、姉妹校との連携、情報の共有を行い、授業ツールの効果を最大化させる。
- ・活用度をさらに高める為に研修を実施する。

③ 特記事項

- ・HPにてシラバス等の情報公開をし、生徒と保護者にも開示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

杉谷委員(医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について)

新型コロナウイルスの影響で、急激にIT化が進むなかで、対面とメディアを上手に混合させなければいけない。それにより、人と人の触れ合いが減少するので、その対策をとってほしい。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

・資格取得については改善傾向にあるが、合格率の向上は前年に引き続き課題である。

② 今後の改善方策

・指導体制を見直し、よい授業の進め方を共有・標準化する為の会議を継続して実施する。
 ・企業や関連団体とより関係性を高め、業界の情報収集と、資格取得に対する動機づけへのご協力を頂く。

③ 特記事項

・学生による授業アンケートを活用・参考にしながら、各教員の指導力把握と改善に努めていく。
 ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保していく。

④ 学校関係者評価委員会コメント

杉谷委員(医療秘書科・診療情報管理士科について)

卒業後に、医事科・ドクターサポートで働く場合、電子カルテを修得できている仕組みを整えてほしい。とくに医師事務は、SOAP など略語を使い、ICD 変換できるようになってほしい。

岡田委員(介護福祉科について)

卒業生はある一定の知識を持っているので、あまり気になることはない。

森委員(医療秘書科について)資格取得のモチベーション維持のため、その資格がなぜ必要なかを教えてほしい。実習時に、生のカルテに触れ合う時間をとればいいのか。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

- ・退学率の低減、皆精勤率の向上
- ・資格取得率の向上
- ・教員間の状況共有

② 今後の改善方策

- ・医療秘書科と診療情報管理士科はカリキュラムが新しくなり、実践力向上にも力を入れている。
その中で、資格取得についても更にサポートをしていく。
- ・学校生活満足度アンケートを実施し、各生徒の状況を把握し適宜フォローをする。
- ・新たな担任制度(チーム担任制)を導入し、タイムリーに生徒に対応する環境を作る。
複数の教員で1つのクラスに関わることで、生徒へのサポート体制を厚くする。
医療秘書科→学科/学年チーフ制度
診療情報管理士科→チーム担任制度
介護福祉科→専門職副担任制度
- ・資格対策については、生徒への動機付けを強化するとともに、昨年度結果を検証し、合格者の特徴を教員間で共有し、指導に当たる。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

岡田委員(介護福祉科について)

介護福祉の分野において、実際の職場で働く姿や雰囲気を感じてもらうことが一番大切だ。

森委員(医療秘書科について)

退学の理由として、入学した時点で思い描いていた学校生活と、実際の学校生活に違いを感じる生徒が多いのではないかと。高校生が、授業やその先の就職、職業について深く考えていない状態で入学している場合、学校の特色や、どのような進路があるのかを掘り下げて伝えるべきだ。

また、検定前の1週間を検定 week と設定しているが、モチベーションを維持するために2週間前から試してみてもどうか。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・卒業後の有効な情報提供
- ・学生相談に関する体制

② 今後の改善方策

- ・「同窓会組織」を強化しており、専用サイトにより求人情報などの有効な情報を提供していく。
- ・スクールカウンセラーを設置し、学生相談体制を強化してきたが、今年度はタイムリーに対応できるよう3名のカウンセラーが週3日対応できる体制を整える。

③ 特記事項

- ・今年度はメディア授業を行っており対面の機会が少ない部分もあるので、生徒からの相談等にタイムリーに回答できるよう意識を高めて取り組んでいく。

④ 学校関係者評価委員会コメント

岡田委員（医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について）

卒業生と連絡がとれるツールや、在校生が使えるアプリがあるのは、非常に良い。卒業生の利用率はどの程度なのか把握して、卒業生の利用率を上げる為に動いてみてはどうか。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

- ・災害が起きたときの備蓄品が不足していた。
- ・カリキュラム変更に伴い、医事実践室を利用する授業が増えたが設備的に不十分な部分があった。

② 今後の改善方策

- ・今年度は備蓄品を人数分準備し、6F より上のフロアに配置している。
- ・医事実践室を 3 月に改修し、より現場に近い環境にした。

③ 特記事項

- ・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・なし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・学科による入学者数の格差
- ・18歳人口減少の中で入学生の確保
- ・学校のリアルな情報を入学前にしっかりと伝え、入学後のギャップを無くす

② 今後の改善方策

- ・地域広報室との連携を取り、ニーズ調査、原因分析を行う。
- ・医療事務員が将来なくなる仕事に分類されていることを受け、オープンキャンパス等で入学希望者に対して医療事務の将来性についてきちんと説明できるようにする。
- ・オープンキャンパス等で入学者に対して適切な情報提供ができるよう、適宜研修を実施する。
- ・介護福祉士科において、留学生の入学促進を行う。

③ 特記事項

- ・2020年度は介護福祉科に入学生が2名在籍している。（各学年に1名ずつ）

④ 学校関係者評価委員会コメント

杉谷委員（医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について）

学校運営には、生徒確保が欠かせない為、一人ひとりがコストに対する意識を持つことが重要である。

岡田委員（介護福祉科について）

自身の法人には、外国人の雇用はしておらず、実習等の受け入れの準備も整っていない。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

・なし

【予算・収支計画】

・なし

【会計監査】

・なし

【財務情報の公開】

・なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

・なし

③ 特記事項

・なし

④学校関係者評価委員会コメント

・なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・なし

②今後の改善方策

・なし

③ 特記事項

・今年度はメディア授業を実施しているが、従来と個人情報の管理について異なる点があるので細心の注意を払って運用していく。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・生徒向けに医療、福祉分野でのボランティア紹介の数が少ない。

② 今後の改善方策

・生徒が参加できるボランティアを業界と連携して、紹介していく。

③ 特記事項

・なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

岡田委員(医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉科について)
社会との関わりは大事なことである為、今後も重視してもらいたい。

2019年6月21日

学校法人三幸学園
大阪医療秘書福祉専門学校
校長 徳 幸道 殿

学校関係者評価委員会
委員長 杉谷 肇

学校関係者評価委員会実施報告

2018年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ①宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院
総務課 部長代行 杉谷 肇
部長代行)
- ②社会福祉法人邦寿会高殿苑 高殿苑ホームケアサービスセンター
施設長管理者 岡田 智之
- ③箕面市立病院 事務局 医療事務室 森 千尋 (2015年度卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年6月21日 (会場 大阪医療秘書福祉専門学校 702教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2018年度 学校法人 三幸学園 大阪医療秘書福祉専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 井村 隆之

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 杉谷 肇

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療福祉分野の学校として「医療現場で医療を通じて、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療福祉分野として「相手のこうして欲しいを理解し、考え動ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①前年度重点施策振り返り

・人間性を育むための教育

生徒の人間性を育むために、「あきらめない教育」を日々実践している。生徒の社会人としての基本スタンス(あいさつ・礼儀・報連相等)については、まだまだ育成する必要があると感じている。日々の生徒指導において、現場の求める基本的なスタンスを養えるよう育成し、土台をかためた上で、主体的に現場で活躍できる人材育成を目指す。

・検定合格率の向上

三幸学園全国姉妹校との比較では検定合格率の結果が前年度より改善がなされた。専門的な知識・スキルの獲得の為に、検定合格率の向上を目指す。各検定において、目標値を定め、検定合格においてリーダーシップを取る教科チーフは、専門性の高い教員を任命し、合格率向上を目指していく。

②学校関係者評価委員会コメント

<医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉士科>

- ・様々な生徒が入学する中で、情熱を持って、教育に取り組んでいる点は評価できる。各生徒に合わせた指導を心掛けて頂きたい。
- ・現場には様々な患者・利用者が訪れる。臨機応変に対応できるような、「技能と心の調和」を持った人材を多く輩出される事を期待している。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

①課題

- ・生徒、保護者に対して、理念や育成人材像の更なる周知。
- ・業界のニーズを踏まえた、各学科における教育目標、育成人物像の明確化。

②今後の改善方策

- ・入学前オリエンテーションで理念・育成人物像を伝えた。今後、担任からも継続して伝えていく。
- ・現場への訪問を実施する際に、現場の求める人物像について、情報収集を行う。

③特記事項

- ・学科の求める人物像が明確にできたので、教職員、生徒への浸透を行う。
また、人物像と現状のギャップを明確にし、学科ごとに取り組みを設定する。

④学校関係者評価委員会コメント

求める人物像について

<介護福祉士科>

去年と同様となるが、それに忍耐力が重要だと感じる。それに関連する話として、入職して3年目の研修で「ほめ達」の関係者を呼んで研修を実施した。職員はほめられると嬉しそうな顔をしていたのが印象的だった。忍耐力は育成しつつも、教育現場でも褒める・叱る両方が必要である。

<医療秘書科>

病名に関する知識を教えることが必要だが、学校ですべて教えることは難しいため入職してから教えるべきである。

<診療情報管理士科>

上下関係については、学校内というよりはアルバイトなどで人と接する中で学んだように思う。

求められている人材は、わからないことをわからないままにしておくのではなく、わからないことがあればその場で相談することができる人材である。お話しができる機会があれば、職場の方に自分から声をかけたり、コミュニケーションをとることで今後の仕事が円滑に進むと感じている。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2

①課題

- ・業務の効率化

②今後の改善方策

- ・業務削減などを継続的に実施し、また業務効率化を行う。事務・派遣スタッフを採用し、分業を進めたり、業務スキル向上の研修なども導入していく。
- ・業務改善提案を月に1回行っているので、継続し、改善に努める。

③特記事項

- ・年 3 回の全教職員に向けて全体会議を実施し、運営方針の浸透や、教職員間の情報共有を積極的に行っている。
- ・学園全職員が一同に集う「ビジョンミーティング」にて、毎年の方針の浸透が図られている。

④学校関係者評価委員会コメント

業務効率化

<介護福祉士科>

頻繁に見回りが必要な利用者様には、見に行かずとも状況がわかるようなシステムを取り入れている。それにより1日のトイレや起きている時間を把握している。パラマウントで運営しているシステムで、利用者ごとに違う夜間のそれぞれの動きがわかるようになっており、そのシステムに似たものも他の会社で開発されている。しかし、記録という部分ではなかなか効率的なやり方はない。

<医療秘書科・診療情報管理士科>

今月も残業が多く、どうしたら業務を減らせるか？という面談を行っている。

学校の取り組みであるやらないことを決めることや、業務効率化などを今後も進めてほしい。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①課題

- ・授業の精度の更なる向上、並びに、授業の質の均等化。

②今後の改善方策

- ・学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会からの意見の集約を行い、カリキュラムの改善を推奨していく。
- ・生徒による授業アンケートを活用・参考にしながら、各教員の教授力把握と改善に努めていく。
- ・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保していく。

③特記事項

- ・生徒による授業アンケートについては、アンケートを各教員が受け取り、改善に努めている。

④学校関係者評価委員会コメント

資格取得

<医療秘書科><診療情報管理士科>

資格について職員間で話す機会があり知ったことだが、一度不合格になった検定をもう一度受けるかどうかは本人にまかせられていたが、他の学校を卒業した先輩は一度不合格になっても、合格するまで受けていた。生徒のときに必要な検定を伝えておくと良い。個人の判断にまかせられると検定料も再度必要になるという理由で受けない選択をする生徒が多かった。特に診療報酬請求事務能力認定試験は取得しておく方が良い。

<介護福祉科>

介護福祉士以外の必要な資格は特にない。多くの施設では、初任者研修をもっていれば採用可というところが多いが、重要視すべきはすべて人間性だと思う。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

①課題

- ・退学率の低減、皆精勤率の向上。
- ・資格取得率の向上。

②今後の改善方策

- ・医療秘書科・診療情報管理士科では、就職するにあたり学校で学ぶ価値を見出せず、退学する生徒がいる。学校で学ぶ価値を医療現場の方から講話して頂く機会を設ける。
- ・介護福祉科では、学力的についていけない生徒が退学する傾向がある。基礎学力を身につける対策を授業内にて実施する。
- ・検定合格に向けてリーダーシップを取る教科チーフは、専門性の高い教員を任命する。また、教科会を適時実施して、授業内の資格取得対策を更に強化する
- ・基礎学力の定着を目的に一般教養の授業を導入した。授業を有効活用し、検定合格にもつなげる。
- ・卒業生に向けて卒業後の教育、研修を実施する

③特記事項

- ・資格取得に際しては、検定weekを設け、検定取得を目指した時間割設定を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

退学について

<介護福祉士科>

介護福祉士科の退学率は低下しているようだが、引き続き、退学率を低減していくよう心掛けてほしい。

学校にて各施設のスタッフに来校してもらい、魅力を伝え退学低減に努めている取り組みは引き続き、行う方が良い。

現在、現場では夢をかなえるプロジェクトを発表するような場を用意している。学校の中で見せにくい部分だと思うので、実習で魅力を感じるようにする機会も重要だと感じる。

<医療秘書科・診療情報管理士科>

職業のイメージや魅力を感じずに、退学をする生徒もいる様子。

医療秘書科では実習時期を1年から1週間の現場実習を導入し、診療情報管理士科では2日間の見学実習を導入することなので、この施策にて、職業への意欲を高めるように取り組んでほしい。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

①課題

- ・卒業後の有効な情報提供。
- ・生徒相談に関する体制。

②今後の改善方策

- ・「同窓会組織」を強化しており、専用サイトにより求人情報などの有効な情報を提供していく。
- ・スクールカウンセラーを設置し、生徒相談体制を強化しているので、生徒へのカウンセラー設置の告知を行う。

③特記事項

- ・同窓会 sanko link が開設され、卒業生に対しての情報発信、就職フォロー等を実施していく。
- ・就職支援に関しては、担任教員と就職担当教員による、ダブルフォローアップ制度を行っている。

④学校関係者評価委員会コメント

卒業生支援

<医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉士科>

卒業生支援が重要である。同窓会の求人サイトにて卒業生向け求人を閲覧できるようにしているのは、良い取り組み。

現場としても、求人があった際には、積極的に案内をし、対応していきたい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

①課題

- ・定期的な防災訓練の実施。

②今後の改善方策

- ・施設・防災関連備品のチェック・購入を行う。

③特記事項

- ・現場実習の場を設けており、将来就職する業界で、在学中から現場経験を積める仕組みを取っている。
- ・アメリカのホスピタルやファーマシー（薬局）と連携し、ロサンゼルスでの海外研修を行っている。
- ・ハザードマップを配布し、緊急時の対応を全校的に統一している。また、避難訓練も教職員・生徒ともに実施をした。

④学校関係者評価委員会コメント

避難訓練について

<医療秘書科・診療情報管理士科>

病院では年2回程度、訓練を実施している。

<介護福祉士科>

施設では100万人訓練に合わせて、全法人施設が安否確認を行っている。プラス個々の施設で避難訓練を実施。

学校でも生徒を守る為、また現場に出た際のシミュレーションとして、訓練はしっかり行ってほしい。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

①課題

- ・学科による入学者数の格差。

②今後の改善方策

- ・入試広報室との連携を取り、ニーズ調査、原因分析。
- ・医療事務員がなくなる仕事に分類されていることを受け、医師事務作業補助の認知を進めていく。また、診療情報管理士の認知もオープンキャンパスなどで進めていく。
- ・介護福祉士科において、留学生の入学促進を行っていく。

③特記事項

- ・介護福祉士科において2名の留学生が入学した。

④学校関係者評価委員会コメント

生徒募集

<医療秘書科・診療情報管理士科>

病院の方も外国人スタッフを求めている傾向が強くなってきた。

<介護福祉士科>

留学生については、18歳人口減少を考え、法人全体で受入れする方向性で動いているとのことだが、方向性などは現場側としても、理解しておきたい。

学校としては、アルバイト時間数確保の問題で今まで入学がなかったが、今年度は修学資金を申請した上で保証人に施設が入り、入学となった。語学能力はN2レベルで入学している。真面目な生徒が2名入学しており、実習先では他の学校の留学生より会話ができて、日誌が記入できていると評価をいただいた。完璧な日本語指導はできていない状況だが、課題を提出させたり、日本語コミュニケーションを頻繁に行うよう促すことなど積極的に行い、現場に良い人材を輩出できるよう、生徒募集と育成を行っていきたい。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

①課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

②今後の改善方法

【中期計画】

一昨年度に第2次中期計画を策定している。今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

<医療秘書科><診療情報管理士科><介護福祉士科>

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

①課題

・特になし

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

<医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉士科>
引き続き、適切な学校運営に留意して頂きたい。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・生徒にボランティア活動の奨励・斡旋・支援。

②今後の改善方策

・地域の医療機関、介護施設と連携し、ボランティア活動を計画・実施していく。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員会コメント

ボランティア

<医療秘書科・診療情報管理士科・介護福祉士科>

ボランティアについては、引き続き、積極的に行ってほしい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

このような学校関係者評価委員会にて、例年改良に向けて取り組んでいることは評価頂けた。今後の計画についても、取り組み内容は今回の意見も参考に取り組んでいく必要がある。現場から求められる人材を目指し、引き続き、取り組んでいく。